

第4回総務文教常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成25年5月13日（月）午後2時20分
- 2 閉会日時 平成25年5月13日（月）午後3時20分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
1 番 佐々木雄司君 2 番 光成 良充君 3 番 澤 健君
10 番 松田 勲君 11 番 北川 勝義君 16 番 下山 哲司君
18 番 小田百合子君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 安井 栄一君
教 育 長 土井原敏郎君 総務部長兼
総合政策室長 池本 耕治君
財 務 部 長 石原 亨君 教 育 次 長 宮岡 秀樹君
赤坂支所長 森 章君 熊山支所長兼
赤磐市民病院事務長 山田 長俊君
吉井支所長 檜原 哲哉君 消 防 本 部 木庭 正宏君
秘書企画課長 近藤 常彦君 消 防 長
総 務 課 長 岡本 衛典君
くらし安全課長 水原 昌彦君 管 財 課 長 末本 勝則君
収納対策課長 友谷 幸栄君 教育総務課長 奥田 智明君
学校教育課長 坪井 秀樹君 社会教育課長 正好 尚昭君
スポーツ振興
課 長 国定 信之君 消 防 本 部
消防総務課長 小竹森美宏君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 富山 義昭君 主 任 大饗 剛君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について
2) その他
- 9 現地査察 総務文教常任委員会所管施設等
- 10 議事内容 別紙のとおり

午後2時20分 開会

○委員長（北川勝義君） 皆さん御苦労さまです。

本日は早朝より現地視察をしました。

これから第4回の総務文教常任委員会を開会いたします。

開会に先立ち、市長のほうから御挨拶をお願いします。

はい、市長。

○市長（友實武則君） 本日は御多忙中のところ、総務文教常任委員会を開催いただきまして、ありがとうございます。また、朝からの御視察の後、お疲れのところ御審議をいただき、ありがとうございます。

本日の議題といたしましては、お手元にお配りのように事業の進捗状況、そしてその他としております。詳細につきましては、後ほど担当のほうから御報告させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入らせていただきたいと思います。

一応協議事項をさせていただきまして、それからその他のほうできょう視察を回った中でどうしても聞き漏らしたとか聞きたいというのがありましたら、一括で受けさせていただきたいと思います。そのようにさせていただこうと思うんで、皆さんよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは、そのようにさせていただきます。

それでは、1番目の事業の進捗状況について、執行部のほうから説明願います。

はい、池本総務部長。

○総務部長兼総合政策室長（池本耕治君） それでは、きょうの視察の行程表の次のページに資料をつけさせていただいております。

1番条例関係、2番予算関係、3番その他ということで協議事項を上げさせていただいておりますので、それぞれ順番にぐらし安全課長から説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（北川勝義君） はい、水原課長。

○ぐらし安全課長（水原昌彦君） ぐらし安全課のほうから6月開会の議会のほうの上程議案につきまして御説明申し上げます。

赤磐市防災行政無線条例の一部を改正する条例ということで、上程のほうをさせていただこうと思っております。

内容につきましては、新消防本部の庁舎が完成するということで、上市の108番地1から津崎の114番地に変更されるという内容の改正を行おうと思っております。遠隔制御装置の設置場所の変更する内容でございます。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

続いて、はい、小竹森消防総務課長。

○消防本部消防総務課長（小竹森美宏君） 失礼します。消防総務課の小竹森です。

条例の一部を改正する条例を上程させていただいております。

新消防庁舎建設に伴う消防本部の住所変更でございます。現在の上市108番地－1から津崎114番地へ変更されることから、位置の変更を行う条例改正となります。よろしくお願ひします。

○委員長（北川勝義君） 執行部のほうから説明が終わりました。

委員の皆さん、何か1と2について、条例関係、質問がありましたらお願いしたいと思ひます。

大変生意気なようなんですけど、委員の皆さんに1つ忠告をしておきます。

これ6月の議会内容でございます。そこで、6月の議題内容で内容的には聞かせていただければええんですが、ある程度は聞かせていただければええんですが、審議、6月議会のほうで事前審査にならないようにということがありますんで、予算上とかいろいろの余り、概略は聞いていただきゃあええと思ひますけど、執行部のほうが答えれる範囲でおさめていただきたいと思ひますんで、よろしくお願ひいたします。

ほんなら、私のほうから1点ちょっと聞かせておいてください。

これ1番、2番同じで、僕ちょっと恥ずかしい話するんですけど、防災無線が動いていくのが消防本部のが消防本部の庁舎が変わるんで動くというのがわかるんで、これくらし安全課がやるというんで、防災無線じゃけやるということですか。せえで、今度は消防総務課のほうで消防署が移設するけえやるんじゃ言うんじゃけど、これたしか無線のはあれじゃなかったん、消防じゃなかったんかな、別じゃったんかな。くらし安全課が見るんじゃったんかな。消防じゃねえかなと思ひたんじゃ。ちょっと勘違いかもしれんけど。

水原課長。

○くらし安全課長（水原昌彦君） 無線条例につきましてはくらし安全のほうでやっております、地区遠隔、消防署の放送する機能がありますので、その放送機能を津崎のほうへ移すという内容でございます。

○委員長（北川勝義君） いやいや、そうじゃけど、なかなか、まあよろしいわ。僕もちよつとわかってわからんようなことを言よるかもわからん。同じで1つがいきゃあええんかなと思ひうて。

総務部長。

○総務部長兼総合政策室長（池本耕治君） 水原課長が今1番で説明しましたのは……。

○委員長（北川勝義君） わかるわかる。

○総務部長兼総合政策室長（池本耕治君） 防災の……。

○委員長（北川勝義君） 防災わかる。

○総務部長兼総合政策室長（池本耕治君） ラップと戸別受信機の、あれの遠隔台が消防署へある、その条例を変える。

○委員長（北川勝義君） その1個だけのじゃろ。わかる。

○総務部長兼総合政策室長（池本耕治君） はい。それから、消防の無線じゃございませんので。

○委員長（北川勝義君） じゃけ、一緒に……。

○総務部長兼総合政策室長（池本耕治君） 一緒にはならん。

○委員長（北川勝義君） 一緒になるのかなと思うて、戸別のを言ようるわけじゃろ。

○総務部長兼総合政策室長（池本耕治君） 戸別と放送塔……。

○委員長（北川勝義君） 戸別、放送塔もじゃけど戸別になつとんが今場所がついとんが上市の108番地を向こうへ動かすから114へ1つ要る。消防署に要るという話ししょうるわけじゃろ。

どうも納得いくようでいかんのんじゃが。頭の中じゃわかりよんで、別じゃというのは。

○総務部長兼総合政策室長（池本耕治君） 無線設備の設置場所が変わるという……。

○委員長（北川勝義君） わかりました。

それからもう一点、きょう聞いたん、6月30日に完了するようになって、これ建物は関係ねんじゃけど、完了するようになつとんじゃけど、当然それ意味で6月の議会出すんじゃろうけど、こりゃ余り聞かんほうがえんかもしれん。どこまでが6月30日に完了するん。

消防長。

○消防本部消防長（木庭正宏君） 建物本体、それに附属します外構、それから舗装工事、そこまでが6月30日までの工期完了となっております。今回の場合、現庁舎から新庁舎への移設というものがございます。その移設につきましては、消防司令無線、指令施設設備については現庁舎から新庁舎への移設ということになります。その移設が完了しますが、これ指令台が今2席あるわけですが、移設に当たってそれを1席ずつに分割しまして、1席移して新庁舎での稼働が可能になりましたら次の2席目を新庁舎のほうへ移設するという形、2段階的に移設のほうを考えております。その1席目が移設が完了しますが7月15日、幾らか余裕を見て7月15日ということで、1席目の新庁舎での運用開始が7月16日から。それから、向こうで1席目が運用開始しましたら2席目を移設しますので、その2席目が完了しますが7月21日です。その時点で2席がそろいまして、正規の無線、指令設備の運用が可能になりますのが7月22日からという予定にさせていただいております。

○委員長（北川勝義君） ほんなら、簡単に言うたら、要約して言うたら7月16日から消防機能活動というんか、全部できるということじゃな。そういう考え……。

○消防本部消防長（木庭正宏君） はい、新庁舎のほうでさせていただきたいと考えております。

○委員長（北川勝義君） 事業完了は6月じゃけど、外構とかはもうできるわけ、6月中に。

○消防本部消防長（木庭正宏君） 一応そう調整をして……。

○委員長（北川勝義君） これ外構分かれとったんじゃねかったかな。外構一緒じゃったかな。

○消防本部消防長（木庭正宏君） はい、一緒です。

○委員長（北川勝義君） 外構も一緒じゃったかな。

○賞本本部消防庁（木庭正宏君） はい。

○委員長（北川勝義君） というたら、ほんなら今の本施設と、きょう見させてもろうた訓練棟じゃあとか皆関連、その他舗装等の外構関係は6月30日末で完了。そして、第1席目が7月15日までで動いて、16日から正式に運用開始というような感じでとੱときゃえんですな。

○消防本部消防長（木庭正宏君） はい。

○委員長（北川勝義君） こりゃもう、ちょっと要らんことを僕が聞きよんで。それで、竣工式というんか、落成、こんなこと聞いてええんかどうかわからんけど、どんなんですか。

というのが、僕何でこういうこと言ようというたら、6月というたら議会が入るでしょう、定例が。どうせられるんじやろうかと思うて、運用。それは決まっとん。いや、それ聞いて答えちゃおえんじやったらええけど、決まっとんじやったら教えてくれりゃあ。

○消防本部消防長（木庭正宏君） 一応現時点ではもう間近に迫っておりますので、そういう計画なしには事業進められませんので、一応設定をさせていただいて、その計画に向かって進めさせていただいております。きょうこういう機会がありますので、ぜひその御報告をさせていただこうというふうに考えておりました。

それで、普通の場合としまして、ちょっと変則的にはなるんですが、消防庁舎の完成というのは我々として消防司令施設が完全にそろって新庁舎の完成、竣工というふうに考えさせていただきたいというふうに考えております。それで、それが完成しますのが先ほど御報告させていただきましたけれども、1席目が7月16日、それから2席そろるのが7月22日ということで、1席目の16日から業務を開始させていただくということで、その時点で新消防庁舎が完成すると、一部完成するということになります。その後現在7月28日に落成式とそれから赤磐市民の方々への一般公開を含めて催し物を計画させていただければと思っております。

○副委員長（松田 勲君） じゃから、竣工式は……。

○消防本部消防長（木庭正宏君） はい。

○委員長（北川勝義君） 7月28日ということじゃな。

○消防本部消防長（木庭正宏君） 7月28日の日曜日をお願いできたらと思っております。

○委員長（北川勝義君） いや、わかりました。

僕は7月28日別にえんじゃけど、何でそねん竣工式が遅えん。

○消防本部消防長（木庭正宏君） といいますのが、先ほど言いましたけども、指令施設の移設を最重点的に考えさせていただいて、それが完成して初めて新消防庁舎の……。

○委員長（北川勝義君） 決まったということ、決定ということ、それ。決定ということ。

○副委員長（松田 勲君） 決定でいいんですね。

○委員長（北川勝義君） 決定かなというて。

市長、決定。

○消防本部消防長（木庭正宏君） はい。市長のほうへは一応これは……。

○委員長（北川勝義君） 市長。

○市長（友實武則君） 7月28日の竣工式というふうにさせていただきたく思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（北川勝義君） 参考に、参議院が7月21日かな。28日になりゃへんのんじゃろ。

○総務部長兼総合政策室長（池本耕治君） 21のような……。

○委員長（北川勝義君） いやいや、28日になりゃへんのんじゃろというて確認しよんじゃ。いやいや、これ遊びで言よんじゃのうて、違う、木庭消防長、市長、遊びじゃのうて、7月21日が参議院選挙で28日がこれじゃったら別に問題ねえ、何も言よんじゃねんじゃけど、もし28日に参議院選挙するようなことになることはねんじゃろうということを確認しようるわけ。やっぱりこれ遊びで言よんじゃねんじゃから、せえから市民も交えて見学会もして催し物してんじゃったら、ぴちっと決めてなかったら2機目の運用ができんでも1機目の運用でもえんじゃねえかと思うて、ちょっとどねえなんかわからんのよ。21日じゃと思うんじゃ。これもう決定じゃ言われたらもうこれで28日じゃけど、ちょっとおかしいことになるけえ、そこら確認できとんじゃろうかと思うたんじゃ。

ちょっと暫時休憩します。

午後2時32分 休憩

午後2時34分 再開

○委員長（北川勝義君） 再開します。

市長。

○市長（友實武則君） 消防本部の竣工式の日程でございますけども、7月28日の予定として進んでまいりますけども、参議院選等突発的なことも予想されますので、最終決定はもうちょっと先に送らせていただきます。今のところ予定ということでお願いを申し上げます。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） わかりました。

それじゃ皆さん、今お聞きのとおり竣工式は7月28日の予定ということで、参議院選挙によって突発的なことがあったら変更あるということで、また後日報告してくださるということで

了承願いたいと思います。よろしゅうお願いします。

他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） なければ、2の予算関係についてお願いしたいと思います、順次。

○学校教育課長（坪井秀樹君） 学校教育課長坪井です。

○委員長（北川勝義君） 坪井課長。

○学校教育課長（坪井秀樹君） それでは、教育委員会学校教育課のほうから3件、6月の議会のほうに補正のほうで上程をさせていただく案件がございます。

1件目ですけれども、1件目は補助金の確定でございます。

学力向上市町村プロジェクト事業補助金ということで、赤磐市の教育委員会としましては本年度予算で学生ボランティアの受け入れ、それから中学校区別の研究指定校事業の実施、そして小学校5年生に対して学力検査、心理検査の実施などを予定をしておりました。それに対しまして補助金のほうを申請しておりましたら、確定通知が届きましたので、確定がおりましたので、3月に確定いたしましたので今回上程をさせていただきます。

続きまして、(2)、(3)でございますけれども、いずれも2つの委託事業が採択されました。

1件目は放課後学習サポート事業でございます。

市内の2つの小学校に支援員を配置して、放課後に補充的な学習等を実施する学校の担任の先生等を支援をいたします。

もう一つは、憧れの人派遣事業でございます。

これにつきましては、従前市内の中学校において職場体験、いわゆるチャレンジワークを行う前に生徒自身がより高い課題意識を持つ手がかりとしてさまざまな人を招聘して講演等をしていただいておりますけれども、さらに著名な方や岡山県内だけでなく、他県等、企業等で活躍する社会人の方を招聘して、より高い課題意識が持てるような講演会等を各中学校で予定をさせていただいております。

以上です。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

はい、国定課長。

○スポーツ振興課長（国定信之君） (4)といたしまして、6月の一般会計補正予算のほうに山陽ふれあい公園大規模修繕事業の減額ということで上程させていただきたいと思います。

これは国の緊急経済対策事業として24年度事業として採択されまして、さきの4月の臨時議会のほうで専決処分の承認をいただきました件でございます。当初25年度予算に計上しておりましたが、24年度に事業が前倒しされたため減額をするというもので、5,522万6,000円の減額を予定しております。

以上です。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

それでは、執行部のほうから説明が終わりました。

1から4までのことについて一括で質問を受けたいと思います。

委員の皆さん、何かありませんか。

はい、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 今御説明いただきましてありがとうございます。

私のほうから二、三、御質問させていただきます。

まず、学力向上市町村プロジェクトでございますが、小学校5年生ということで特定されて学力検査、心理検査の実施をなされるということなんです、これ何で5年生なんだろうかとということでもあります。特にその5年生の心理をはかって何を目的とされていかれるのか、その趣とといいますか、方向性をちょっと詳しく御説明いただけたらと思います。

あと、放課後学習サポート事業、これでありまして、これに類する事業というのをもう既に赤磐市のほうで行っているのではないかと思うんですが、それと分けてどうしてこれを新たに実施する必要があるのか、詳しく御説明をいただきたいと思います。

あと、憧れの人派遣事業でありますけれども、これ追加で委託事業をいただけたんだという話であると思うんですが、過去にもたしかおやりになられてますよね。どういった方が招聘されていたのかということをお聞きしたいのと、今年度どなたを招聘される御予定になっているのかということをお尋ねしたいと思います。

それぐらいですか。以上でございます。お願いいたします。

○委員長（北川勝義君） 坪井課長。

○学校教育課長（坪井秀樹君） まず、1点目なんですけれども、本日お配りしております資料のところに学力検査・心理検査とあると思います。まず私どものほうの説明が十分できていなかったのかもしれませんが、学力検査につきましては5年生を対象として実施をさせていただきます。学力検査は現在小学校6年生につきましては全国学力・学習状況調査、そして中学校1年生につきましては岡山県の学力テストが行われております。5年生で実施をすることによって一人一人の子供たちに対して経年で学力の伸びを測定でき、そしてその学力の伸びに応じた的確な指導を行うために5年生で実施をさせていただくものでございます。

それから、心理検査につきましては、これは対象は高陽中学校ブロックの生徒さんでございます。学年等のこれは対象はないんですけれども、心理検査を行わせていただきまして、クラスの中での自分の様子、そういったものを測定して、自己有用感といいますか、自分のクラスの所属感等を検査で測定して、それを学級経営とかに反映させていこうというものでございます。

2番目の御質問ですけれども、放課後学習サポート事業ですが、これもこれは委託事業の追加でございます。同様の事業が山陽東小学校のほうで行われておりますけれども、笹岡小学

校、2つの小学校といたしますのが、現在想定しておりますのが笹岡小学校と仁美小学校を想定しておりますけれども、そちらの学校のほうから要望がありまして、今回要望を上げておりますと委託のほうが決意をしてくださったということです。

今後につきましては、やはり地域のボランティアの方に将来的にはやっていただくということになりますけれども、本年度2つの学校においては支援員さんのほうをこの事業で配置させていただいて、一人一人の個に応じた指導のほうを行っていくという予定にしております。

それから、最後の憧れの人派遣事業にかかわる御質問でございますけれども、まず過去につきましては、私の知っている範囲では岡山県内の企業の方、ファジアーノの社長さんとかナカシマプロペラの社長さん、会長さんとか、そういった方に来ていただいているというふう聞いております。

今年度この委託事業の決定を受けましたので、現在想定をしている範囲では、例えば宇宙開発事業団JAXAの方の招聘、それから近隣では環太平洋大学の講師の方をお招きしたり、そういった想定をしておりますが、現在学校のほうともこういう事業のほうで委託のほうの決定があるのでどういう方をお呼びしようかというのは調整をこれから図っているところでございます。

以上です。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

佐々木さん。

○委員（佐々木雄司君） ありがとうございます。

改めまして佐々木でございます。

1番の学力検査・心理検査、高陽中学校地区でおやりになられたいというお話であったんですが、これ親御さんの反応どうですかというところをまずお聞かせいただきたいと思います。

あと、2番ですけども、学校要望、この学校の要望が2つの学校の要望からあって、それにこたえるというような形だということなんです、その学校ではなくて例えばほかの学校でまとめて集中的にやっていただくというような、ここに予算をかけない方法というのを考えることってできないのかなと感じたりするんです。予算がついたから何でもやればよいということではなくて、そこに携わるいろいろな業務、行政業務というのでも発生してまいります。その行政業務をなるべく簡素化するという意味においても、なるべく行政事業というものの数は減していかなければいけない……。

○委員長（北川勝義君） 佐々木さん。

○委員（佐々木雄司君） だから、予算……。

○委員長（北川勝義君） 佐々木さん、ちょっとお願い、先ほどしましたように6月の議会上程してやられることなんで、余り入ったら6月のところに事前審査をしたようなことになるんで、学校名とかどこら辺をやるというぐらいの説明で終わらせていただいて、聞かれるのはそ

のときに聞かせていただけたらと思う。先ほどそういう了承とったと思うんで、先ほどとめりやえかったんですけど、ちょっと今そう思いまして、皆さんと思うた。ちょっと要約して、もうちょっと簡単に、もう少し内容聞くんじゃないかと要約して聞いてください。内容的がいいとか悪いとか予算についてというのは、またそりゃ6月の議会のときに、委員会のときにしていただきたいと思えますんで、お願いします。

はいどうぞ、佐々木さん。

○委員（佐々木雄司君） 改めまして、失礼いたしました。趣旨をちょっと間違えていたようです。申しわけありません。

というようなことが気になっておりまして、お話は次回改めてお聞きしたいと思っておりますので、具体的にもう少し詳しくお答えのほうを御用意いただけたらと思います。

あと、3番のJAXAなんですが、今の赤磐市の学校教育現場含めまして、私たちの大人の社会も含めまして、やっぱりこの社会に対する一人一人の責任感の認識というものが非常に下がっている。防犯、防災意識に関しても下がっているように思います。

そういう中で、私はJAXAというような方より、逆に3・11の震災のときに原子力発電所で決死の覚悟で自衛隊員というのは放水活動を行ったわけです。御家族の方とかの心配もあるにもかかわらず命をかけて行った。それは何で行えたのか、そういったものをJAXAの方よりは、JAXAの方にいろいろな御講演をいただくよりは、社会の中で働くという意味において私は学んでいただくいい機会になるのではないかなと思ひまして、これ自体に対しては全くやぶさかではありません。ただ、人選に関してはしっかりともうちょっと御検討いただけたらというふうにも考えたりします。

以上でありました。失礼いたします。

○委員長（北川勝義君） 坪井課長、今言ようった、どなたでもえんじゃけど、教育次長でもええ、高陽中学校区域の小学生にするというたんがありますな。それなんは答えられるんじやと思う。ちょっとわかりや、ちょっと言うていただけりやあ。

はい、坪井課長。

○学校教育課長（坪井秀樹君） 実は高陽中学校のほうがこれからことしから3年間の研究指定校、高陽中学校ブロックが受けております。高陽中学校ブロックの先生方、校長先生以下先生方のほうから自己有用感を高めることによって学力向上を図りたいというふうなそういうふうに言われましたので、高陽中学校のほうの研究のほうの関係で実施をさせていただくということでございます。

○委員長（北川勝義君） JAXAの、ええん。要望みたいなんでええん。

ちょっとほんなら、ちょっとええです。

実は、市長、教育長きょうおられん、教育次長に当たるかもしれんけど、よう僕ずっと絶えず言ようるというのは、皆さん僕が発言しようりや嫌うんじやけど、長えからというて、質問

もすんじゃないけど。これ質問せんでもええようにやっぱり説明資料書いって、説明せえということをするわけ。せえというて偉そう言うんじやのうて。

例えば高陽中学校が研究の指定の学校になつとんじやと、3年間なつとるというたら、ここを佐々木さん聞いてくれたからわかったんじゃないけど、答えてくれたから、そういうなんが聞かんでもようなるわけ。それとか、今放課後やこうじゃったら笹岡、仁美がこういうことをやりてえ、やっていきたいんじゃないというて言うたら、もう今現在は山陽東をやつとんですよと、2校追加になるんですよというて言うてくれたら、もう余り聞かんでもわかるとこがあるんじゃないけど、説明してくれにゃおえんと思うわけ。説明やっぱりようできるようにしてくれとったほうがええと思うん。ぜひそれを次の6月のときにはお願いしてえんで、別に質問せんというんじやのうて、ぴちっと言うてくれたら質問する必要ねんです、わからんというて。

せえから、私はここでちょっと1個だけ、佐々木さんと同じなんで、招聘して講演会等を開催するというて、招聘というたり難しい、いろいろ使われるのはそりゃえんじやけど、別にそれでどうこう言うんじやねんじやけど、JAXAがええじやとか、せえから今3・11の佐々木委員のほうじゃ自衛隊の方が命がけじゃった。自衛隊もそれからもちろん原子力かかわった人も皆さん命がけでやってくださつとると思う。どなたがええとか、もちろん市長自身も行かれて、陣頭指揮とってやられた、岡山県代表してやられて、岡山市で行かれとる、そういうこともようわかります。もちろん松田さんらも行かれた、皆さん行かれて、だからその中へしとって、ネームがついたほうがいいとかというのも一つのいいことが出とんで、ぜひお願いしたいのは、そういう方もいいです、そりゃJAXAであろうと自衛隊であろうというのは、ちょっと大変いい意味なんですけど。僕は、それも一つの方法なんですけど、できましたらこの赤磐市にも本当に著名人がおるんです。学力が優秀なだけじゃなく、それから学力の優秀な方もおられるし、やっぱりそういう人も活用すべきじゃないかと思うんです。

例えば言うたら、こんなこと大それた僕が言うんじやねえですけど、一代で例えばいろいろなグループをつくり上げた方じやとか、例えば田中角栄さんみたいなもんじや。岡山で今名前出せ言うた、これ削除あえてしてもらおうと思うて、後で削除してください、名前は。例えば……じゃとか、やりりようる方じやとか、それから名前削除、……というんじや、議員じやけど、たまたま……みてえにやりりようる方じやとか、それからNPOも立ち上げた方じやとか、そのやっぱりあると思うんです。何でもほかの。全部それをせえ言うんじやねんです。何ぼかそういうな人も入れてもらやあ、身近な人で。

僕の言いてえのは、ただ話を聞いて、えれかってえかったなというて、ほんならここへ総理大臣来てくれというて来たから意味僕ねえような気がして、ここのやっぱり赤磐のこと、実情をわかった人にも語っていただきてえということがあるんです。やっぱりそうじゃなかった。きょう視察しようてちょっと要らんこと言うたら、豚が流れたんじや、牛が流れたんじやという話をしようたん、これ事実なんです、吉井川流れて、助かったという。奥田君らも知っと

る、入ってねえか、ここで言うたら知っとる者もおられたりする、職員も、経験してなかったらわからんので、しとんも事実なんで、そういう地元をわかってから全体がわかった人も1人ぐらいそういうなん説明来てもろうてもええんじゃねえかとは思うんです。それやれえ言うんじゃねえて。

せえで、やってもらなえんじゃけど、これどこをやるんですか、こりゃ。各中学校でということは、もう全部やるということ。6カ所とかやるわけ。各中学校でもしやるんじやったら、問題ねえように、吉井はせなんだと、高陽はしたんじやと、桜が丘はしたんじや、せえで終わりじやと言わんようにしてもらわにゃあ、赤坂中学も吉井も磐梨もしてもらわにゃ、5つはしてもらわにゃ……。

○学校教育課長（坪井秀樹君） 5中学校でやります。

○委員長（北川勝義君） いや、じゃったら、JAXAやこのやこ100万円で旅費やこ言よっても来れんのんじゃねん。これ……。

○学校教育課長（坪井秀樹君） いや、何とか積算をしまして、JAXAのほうの方が大体お二人来ていただいて5万4,000円ぐらいで来ていただけ……。

○委員長（北川勝義君） ああ、そんなに安いん。旅費入れても。

○学校教育課長（坪井秀樹君） はい。旅費で来てくださる……。

○委員長（北川勝義君） ああ、安いんじやなあ。ああ、そう。

○委員（下山哲司君） もう任せとこう。

○委員長（北川勝義君） ちょっと、せえで最後。もうこれで、今僕の言いたかったのは、そういう方も呼んでもらやあえんじゃけど、単発の事業じゃのうて、この赤磐にもそうやって貢献したりしとられる方もおられるんで、そういういろいろなことをやっとる方もおられるんで、そういう人も利用してほしい、許せる範囲じやったら。

それから、今ええ悪いは別で、何がええかどうかわからんけど、赤磐市、吉井町から出とる……も出とるし、ええとか悪いとかは別で、それから今……というのも出とるし、ええとか悪い、あんなもんで言うたら言葉悪いけど、訂正せにゃおえんかもしれん。あの方でも一発芸か何か一生懸命頑張っただけやってこられとんです。じゃから本当に苦労はしとんです。じゃから本当に苦労はしとんです。何やかんや。子供が本当によくなっていくんじやったら、高い意識を持つというたら、そういう人も大事じやと思うん。何か偉えけん、月行ってきたんじや、何か開発したんじや、iPSじゃ、そればあじゃのうて、ちょっとやっぱりそういうなんもぜひ考えてください。

せえで、ちょっと僕はJAXAのことがそねん安う来てくれるんじやったらぜひJAXAは使おうほしいし、自衛隊もよけりゃあ自衛隊もただみてえに来る、ただとは言わん、来るでしょう。だから、どうしても一つとかというんじやねんではよ。やってもえんでしょ。ぜひやるたびに機会を持って人をようけ、こけえ隣におられる、創価大学から来てもろうてもええ、環太平洋大学とかというんじやのうても、どこでもええん。僕、みんな与えちゃってほしいとい

うことを言ようるわけ。単純にここがええとか決めるんじやのうて、我々の大人の公務員の世界だけで決めつけずに、もっと広げてほしいというのをお願いしてえんで。

はい、松田さん。

○副委員長（松田 勲君） ちょっとお聞きするんですけど、これ県の委託事業で大体もう決めとんでしょ、でも。さっきJAXAとか言われようったけど、いろいろもうこういう100万円の根拠というのはあるんでしょ、やっぱり。

○学校教育課長（坪井秀樹君） お人については決まってはいません。予算積算上の根拠として県のほうに要望するのに、例えばJAXAだったらこれぐらいで行いますよという形で予算をとるための積算としてこのJAXAを一つの例として挙げさせていただいて、100万円の委託事業ということをとっております。

○委員長（北川勝義君） まあええの、何回するん。何回せられるん。5回ということ。

○学校教育課長（坪井秀樹君） 一応5回を予定はして……。

○委員長（北川勝義君） JAXAだけじゃったらおめえ余ってしまうで。

○学校教育課長（坪井秀樹君） 何回でも今言われたように来ていただけるというか、近隣の方でしたら何回でも、クラスごとに呼ぶことも可能ではないかとも思っております。

○委員長（北川勝義君） 佐々木さん、何かあったん。

佐々木さん。

○委員（佐々木雄司君） JAXAの方もそれは科学技術とか、これから日本人が非常にすばらしいものを持って伸ばしていかなければいけない、そういったものを子供たちに教えてあげて、夢を持たせるという意味では非常にいいんだと思います。

しかしながら、今赤磐市の中で、赤磐市のみならず日本社会の中でやっぱり希薄になっているのは一人一人の社会に対する思いであったり、国家に対する忠誠心であったり、こういったものが欠けていると思います。そういう意味においては、幼少のころ、子供のころに命をかけて戦うということがどれほどとういものなのか。しかも社会のために国家のために地域のために人のために自分が一生懸命働くということがどれぐらいその地域、日本社会の中で効果が出るのかということをやっぱり教え、学んでいただくためには、僕はやっぱり自衛隊の方、JAXAさんだけではなくて、自衛隊の方にもぜひ来ていただいて、しかも3・11で前面で放水作業を行った、命をかけて行った、そういった方々に何でそんなことができたのか、どうしてそういう覚悟が生まれたのかというところをぜひ自衛隊の方々に子供たちに教えていってあげたい。そういうものを私は大人として子供たちに伝えていきたい。そういったぐあいに思っております。ぜひ御検討をお願いいたします。

○委員長（北川勝義君） はい、松田委員。

○副委員長（松田 勲君） 佐々木さんがいろいろ言われている思いもわかるんですけど、これももともとが職場体験ですよ。今子供からよう聞いていろいろわかったんですけど、今大学

ではいろんな企業のトップとかいろんな成功した人とかを呼んで講演をいっぱいしてるんです。今そういう時代になってきてるし、それにいっぱいの子が見に来て、聞きに来てる状況なんです。

中学校というのがやっぱりこれから高校を選ぶにしてもどこに行くにしても、将来何になりたいかというのをまだわかんない状況ですよ。だから、いろんな成功した人の意見を聞きたいというのはあると思うんです。だから、さっき言われた自衛隊のことで頑張った方の意見も話も一つの自衛隊の仕事としてこういうことをやってんだというものもあるだろうし、いろんな企業、成功した人の聞く人もあるだろうし、そういったことをしっかり人選して、できるだけいろんな方の体験を聞かす意味ではしっかり検討していただきたいなと。要望です。お願いします。

しっかり言われてるように、地元にもそういう成功者がおられるわけだから、その辺をしっかりと、職場体験ということも含めて考えていただければいいんじゃないかなと思います。要望です。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） 4の専決については、これはもうよろしいな。どなたももう済んだ、減額ということで。これに触れたらまた予算のことになるから、予算上になるから。

それでは、2の予算関係をこれで終わりたいと思います。

続きまして、その他ということで、執行部のほうから何かありましたら。

国定課長。

○スポーツ振興課長（国定信之君） お配りしております資料の中にあると思いますが、チャレンジデー2013という1枚物の資料があるかと思います。

チャレンジデーというのは、今年度4回目の取り組みになりまして、ことしは5月29日の水曜日になります。午前0時から午後9時までの間に赤磐市内において継続して15分以上の運動やスポーツ等の活動を行った住民の参加率を対戦相手と競うイベントであります。これは笹川スポーツ財団のほうが主催しておりまして、全国100を超える自治体のほうに参加しております。今年度の対戦相手は茨城県の行方市というところに決まっております。相手のほうは4回目の参加で、昨年度参加率43%だということで聞いております。

運動の内容につきましては、ここに書いてあるものが該当になりまして、それ以外でもスポーツのきっかけ、運動のきっかけづくりになるようなものなら構わないということになっております。当日は体育施設等、この目的により利用される場合は無料で使用していただくようになっております。当日の全体的なイベントとしましては、午前8時から開始宣言と本庁及び各支所の玄関前でラジオ体操を行う予定にしておりまして、あと最後9時まで3つのイベントを計画しております。皆さんにおかれましては、ぜひこちらのチャレンジデーの御協力いただ

きまして、参加いただけたらと思います。

チャレンジデーにつきましては以上です。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

次に、1のチャレンジデー2013について何か質問がありますか。

参考までに、市長が会長で、副がうちの議長の小田議長ともう一人、連合会長の森本さんですんで、ぜひ参加してください。

僕は卓球なんじゃけど、朝も行かにゃおえん。朝はどうしようかと。2つ行っても1つじゃろ。あれはできんのじゃろ、カウントというのは。勝たにゃおえんのんじゃねんじゃけど。

何か質問がありましたら。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは、1のチャレンジデー2013については終わります。

続きまして、2のありましたら。

はい、国定課長。

○スポーツ振興課長（国定信之君） きょう山陽ふれあい公園の指定管理についてということで、本日ふれあい公園のほうを現地視察していただきまして、お話を若干入れさせていただきましたが、ふれあい公園につきましては来年度平成26年度から指定管理制度の導入に向けて今現在準備しておるところであります。

今後、来月ぐらいから公募の準備のほうを始めまして、今年度中には事業者の決定までたどり着けて、来年4月からの管理の移行へと向けていきたいと思っておりますので、簡単ですが、お話をさせていただきました。

以上です。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

説明が終わりました。

何か委員の皆さん、意見ありますか。

はい、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） たびたび恐れ入ります。

これ事業者の公募等の準備を進める予定となっているんですが、いつぐらいからを予定されているのかということと、あとその予定を延ばすことってできないんですかねっていうようなことをちょっとお尋ねしたいと思っております。

○委員長（北川勝義君） はい、課長。

○スポーツ振興課長（国定信之君） 一応公募のほうを来月中には、来月の終わりまでには開始したいと考えておりまして、引き継ぎもありますので、その後、9月議会ぐらいで議決のほうをお願いして、あとその以降、引き継ぎのほうをしていくような今の現在のところ計画しております。

募集のほうを延ばすということもありますが、初めてのこういった大きいものでありますんで、先ほども述べましたようなスケジュールを現在のところ考えております。

以上です。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

言うんじゃないら手挙げて。

はい、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） つまり公募の何を基準に公募されるのか。行政として経費がかかるから民間委託するのか、それとも赤磐市の資産を、市民の資産をさらに向上させるために公募をするのか、そこら辺のところがちよっとまだ説明をいただいてないので、いきなり公募をしますよって準備を進められても、ああそうですかとは言えないというのが私の立場なんです。

今御説明できますか。できるんでしたら、ぜひちよっとおやりいただきたいと思いますが、できなければ時期をずらしてもうちよっと説明をしていただいてからお出しいただいてもいいんじゃないかなと思ったりするんですが。

以上です。

○委員長（北川勝義君） ちょっと聞いてよ。

今佐々木委員の言わりようることも僕も同感じゃという気持ちもあつて言うんじゃないけど、別に僕は6月から開始せられてもおえんと言うんじゃないけど、6月もちよっと早いんじゃないかなと思うて。もう少し考えて、例えばきょう見たときに、指定管理するという話が出たんじゃけど、グラウンド・ゴルフ場みたいなという言い方悪い、一つのもので、今までシルバーがやっていたとって、そこの移管をしていくというんじゃないらこれ割にスムーズにいける移管じゃと思うんです。

それで、これがスポーツ施設というたら、ここだけじゃのうて、特に言うたら吉井のきょう視察したB&Gがあります。吉井のB&Gの中もこれ皆さん委員さんが知られんからあえて言わせていただきゃあ、前の市長さんも直さないということで吉井中学校のプールが全面だめです。改修しません。そういうことでB&Gへ送って、プールの水泳教室はしとります、中学校は。そういうこともあつて、これも、おめえ何言よんなら、ふれあい公園じゃがなと、B&Gじゃねえがなというて、同じことなん、施設の考えでいうたら。やはりもうちよっとやるとしたらふれあい公園もやっていく、吉井B&Gも委託していく。それから、特に今回は僕自身が感じとんのは、余りお金もかかることですけど、あそこで一生懸命組んでくれて、先生がホンジョウさんという方がして一生懸命やっていただきようります。吉井のB&Gの場合は。

だから、そういういろいろやり方があるんで、全部ふれあいだけやっていくというんじゃないら、やっぱり両方あわせて、場所場所によってもともと町が違うんで、あると思うんですが、こういう考えじゃけ佐々木委員が言われたこういうことをすりゃ向上していくし、利用者がふえていくんじゃないら、皆さんが気軽に来れるんじゃないらとかニュースポーツもできるんじゃないら、

維持管理ができるということの何らかを出すべきじゃと思うとん。ただ指定管理すりゃええ、これがグラウンド・ゴルフみてえにしとったら指定管理すりゃええと思います。じゃったら、もう新市長もおられた、教育長も今帰ってこられたんじゃから、もう小学校やこ統廃合すぐせにゃあおえん。もう市民病院もやめにゃおえん。学校もやめにゃ、金が要るんなら皆やめしまわにゃ。銭じゃねえ、これがどうするんならと。これええげにしていくんじゃとか、やっぱり目的を持ってもらわにゃおえんで、すぐやるんじゃというこっちゃんのうて、もう今までのときはそうやらせていただきたいということが出とったのは議会でも出とりました。しかし、今回は新しい市長さんが出られて、新しい議員さんも出られたんじゃから、その中でやっぱりもう一度こういう考えでびっと理解を、せめてこの総務文教委員さんには皆さんこうですよと、理解していただくようならんときにはそう簡単に出すべきじゃないかと思うんで、僕はこまで余り深入りはしとうねんですけど、やるのを、もう少しちょっと説明を。

僕できたら、今度発議をするかもしれませんけど、こういうスポーツ施設とか学校まで、学校教育までいきよんじゃねんです。中学校があるから、プールがあるからちょっとそれ僕頭へつけとんですけど、もう少しこういうとこの指定管理をしていくためのことの原点にふれあいセンターとかふれあい公園とか吉井B&Gの施設じゃとかというのの勉強会というんが、協議会みてえな委員会です。特別委員会まで言いませんけど、つくって、やっぱり切磋琢磨してどうやりゃあええというのをやるべきじゃと思う。

僕はせえで1個ちょっと思うたのは、吉井のB&Gじゃったら分けりゃええと思うとんです。全部はせずに、やっぱりプールやこうが一番ようけかかると思うんです。そこら分けていかにゃおえんの、山陽でも。たら、かけるんじゃったら、今のトレーニングしょうとこは本当そういう上手な人がおったらそこへ任しゃえんですよ。そういうやっぱりそうせなんだら、それでちょっと前市長の井上市長が指定管理のことがあるからシーガルズについてはいろいろなことを決めてやられて、やられたんです。それもわからんことはねえ、それも納得何ぼかしとんです。指定管理になった、その者に金を出せ言うたらちょっとおかしげなことになるんで、シーガルズに対して、ある。

そこらもじゃけんもう少し新しい、これもう市長さんも前のままで続いとったと、議員さんも前のままだが続いとった言うんじゃったら、僕これええと思うんじゃけど、新しくなったんじゃ、この4月になったんじゃから、もうちょいかけにゃあおえんのじゃ、そこら辺のことどう教育長、市長考えられとんかな。僕、佐々木さんとの同じ考えがちょっとあるんですけど。別に特別委員会までつくれとかまで言ようりませんが、どんなんですか。

教育長。

○教育長（土井原敏郎君） 先ほど課長が言いましたスケジュールでは来ておりますけれど、十分審議をして意見を求めてということが必要だというんであれば、ただ、今の来年度から指定管理にするというようなことについてはある程度結論を今までずっとまとめてきたという経

緯があるので、これをそっから変えていくということはスケジュールそのものを変えていくということになると思うんですけど。

○委員長（北川勝義君） ちょっとええかな。ちょっと待って、すぐ終わらあ。もう一発言うとか。

教育長、それ考え方間違うとん。僕さっき言うたのは、これじゃったらほんなら前決まっとったからというて、前の市長で前の議員で決めとるこっちゃから、悪いとか言うんじゃねえです、我々もおったんじゃ、決まっとん。しかし、今度新しい市長さん、新しい議員さんなられたんじゃったら、その人のらにもわかるように説明せにやいけんでしょということを言ようるわけ。わかっていただいてからやりやあえんで、スケジュールはわからんことはないです。別におえんとか言うんじゃ。

だから、僕今むちゃくちゃというんが、ほんなら小学校もそうすぐすりやあええがんと、こう簡単に。教育長は統合せにやいけませんというてやりようったけど、皆さんの意見を聞きますというてやりようりました。もとへ戻るんじゃけど、なりました。今度は今言ようっても市民病院でもどうなるかわかりませんが。やっぱり考えてもらわなんだらいけんのんじゃねえですかという話をしょんです。一旦決めたから、ずっとそれタブーじゃ、もう決めたけえそのスケジュールを走るといのはせめて皆さんに、こけえおる人は、そうじゃ、こういうメリットもあるから、デメリットもこういうんあるかもしれん、これでいかせていただきてえと。わからなんたら我々も負託受けて議員で立候補して、自分がやりとうて議員になってきとんじゃから、まちづくりしてえんじゃから、やはりちょっとそこらは考えてもらいてえと思うんですけど。僕の言ようることもわかっと思うんじゃ……。

○教育長（土井原敏郎君） そのことについて、どういう指定管理することがどういう目的でどういう効果がある。また、反面どういう課題があるというようなことについては議論していただくのはいいと思います。

○委員長（北川勝義君） ちょっと、指定管理の話をし出したらややこしゅうなるから、こういう指定管理ここで受けていくんじゃけど、例えば赤坂の天然ライス見てみねえ。どねえ考えるんで。今言ようることわからん人もおる、わかる人おる。天然ライス貸してくれえというて、NEWが貸してくれえというて借っとる。結果的に直せ、500万円かけ1,000万円かけて直せ。何もせん。ほっとる。やめた中止の状態ずっとほん投げとるが。あれがやったから。ほんなら、天然ライス管理せんようになったけえ金は要りませんよというて赤磐市は。水道代も電気代も要りませんというて赤磐市は。

しかしながら、そこがもと本来の活用ができてなかったら意味ないじゃないですかということと言ようるわけです。だから、そういうことを今の指定管理で今の失敗があるでしょ、1つ、今完璧な失敗が。それを僕はどうするんならということの説明してもらいてえというのを言いたかったんじゃ。

下山委員。

○委員（下山哲司君） 物によっていろいろあれが違うんじゃないから、みそもくそも一緒にという話にはならんから、やっぱり今までやってきとることをほんならまるつきり180度変えられるんかというて変えられるもんでもないし、じゃから説明、新しゅう議員さんになられたんじゃないから、また日を変えて説明をきちっともう一遍したらどなんですか。

○委員長（北川勝義君） いやいや、僕は、下山さん、下山さんと論議……。

○委員（下山哲司君） きょうそこまでするような段取りにしてねえでしょ。

○委員長（北川勝義君） 下山さんと論議するという、委員同士がするんじやのうて、6月にまた改修するというて、もうそれ言うから、スケジュールで、スケジュールはわからんことはねえ。そういう流れで来よんじやろう、そりゃ。じゃけど、やっぱり皆さんがどうなつとるか、理解がまだわかってねえのに、言ったらちよつとむちゃじゃねえかというのを言いたかつたんで。

はい、次長。

○教育次長（宮岡秀樹君） 教育次長宮岡です。

皆さんおっしゃられてることはよくわかりますので、6月の委員会のほうで詳しく御説明をさせていただきますして、御理解が得れるようにいたしたいと。スケジュール的には先ほど課長のほうが申しましたように、このスケジュールでやりたいという気持ちではおりますが、6月の委員会のほうで御説明をしっかりとさせていただきたいと思えます。

○委員長（北川勝義君） 松田委員。

○副委員長（松田 勲君） 私もちよつと総務文教今回初めてなんで、指定管理出すというのは僕らも賛同しとるし、あれなんですけど、でも改めて今この委員の中で新人の方が3人と、私も前は厚生だったから詳しいことをどこまで話しされるかわかってないところがあるんです。

さき皆さん言われてるところをやはり指定管理するのは何でふれあい公園をこういうふうにしたいんだと、こういう方向に持っていきたいから指定管理しますということをきちっと言っていたいで、もしきょう言えないんだったら、さっき言われた今度の議会の委員会の中でやればいいと思うんですけど、ただ、今募集が6月言われたでしょ。6月に始まる、それが済んでから募集ということになるんですね。それが決定してから。そういう理解でいいんですか。だから、そこできちっと皆さんに、少なくともここにいらっしゃる委員の皆さんがそれなら指定管理出してもいいわというふうにできるわけですね。それはそれで、それでいくんだったらいいと思うんです。

○委員長（北川勝義君） いや、次長、今言よんのは、指定管理反対とかそういうんじゃないのうて、おえんなり指定管理していくべきじやろうと、こういう時代の流れから指定管理がええとか悪いとかは別で。せえで別に天然ライス、みそもくそも一緒にしょんじゃねんで、そういう流れじやという話をしょうって、そういうこともありますよということ言うたん。

じゃけ、ここで言ようるのは、下山さんと僕はある程度その意味わからんことはねえ、わかつとんじゃけど、議長もわかって、議長はここじゃねえけど、ある程度わかっていきよんじゃけど、その言よう中、皆さんわからん質問もあつたりするんじゃから、時期をちょっと考えて、時間も、新しいメンバーになったらするべきじゃねえか、説明責任があるんじゃねえかというて。前決まつとんじゃけえやるんじゃというたら簡単なもん、そんなもん何も、ということと言いたかつたんで、やっぱりそのためにもしまた副委員長が言ようように、6月末に開始じゃつたらこの説明会が終わつてからじゃなかつたら、説明会が終わらんのに今度行かれて、事後処理というんか、おかしゅうなつたらせつかく。

せえで、僕はやり方としていろいろ研究をしてもらやあこういう研究会つくりや、やっぱり優秀な人が赤磐市にもおつたり関係者もおるから、ここへこういうもん入れるというの、一つのやり方でいきやあ、ちょっとええ方法も出るんじゃねえかと思うとるんで、別に誰が悪いとか、何も頭にねんです。どうこう言うんじゃのうて。自分ら簡単なけえどつかの大きい、例えば岡山市のスイミング、そこがええとか、単純な話になると思うんじゃ、簡単な。単純なというたらならんと思うけど、なる可能性もあるが。じゃから、やっぱりちょっとそこら皆さんにもう一遍ゆつくり説明をしてもらいてえと思うとんで。せえで、ここだけの我々のだけじゃのうても全員によろしいというて了承もらわにやあおえんのんじゃから、たらほかの議員さんで関係ねえと、特にわからんという議員さんも出てくるんじゃ。前のときグラウンド・ゴルフのとき言われたでしよ。シルバーが優秀なけんしてもらうんじゃというて、ほんなら職員は優秀じゃねんかというて出たことがあろう、覚えとろう。そういう話というの、そねん簡単な話ししたらいけんと思う。とお願いしてえと思いますんで。

はい、下山委員。

○委員（下山哲司君） 今までのあれでも公募でも公募を途中でやめたのもあるし、内容的にお互いが折り合わなんだら成り立たんことなんじゃから、じゃけスタート切つてやってみんとできるんかできんかもわからん。そうでしよ、実際には。

○委員長（北川勝義君） 違う違う、違う。その前に委員がどういうことを理解しとんか…。

○委員（下山哲司君） 予算でも一緒。ほんなら、前年度予算しとつてももう180度変えるんじゃというわけにいかんのんで、事業というの、継続していきよんじゃから、そうほんなら議員だつてかわつたからほんならまるつきり変えてしまえというような話にはならんので、組織じゃからな。その辺はじゃあからある程度理解をしていかにやいけんのんじゃないかな。

○委員長（北川勝義君） はい、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 今北川委員長がちょっと触れていただいたんですが、私、今下山委員がおっしゃられたことにはもう大反対です。というのは、私がここにいるのは選挙という民意で選ばれてここにおります。その民意は私は公約を掲げておりました。行政業務の抜本的な

見直しとゼロベースで全ての事業を見直していくという公約なんです。その公約に基づいて私がここにいる限りは、やっぱりすべからず状況というのを教えていただいて、納得ができなければそれに対して賛同することはできない。これは民意ですから、そのことについて皆様方ぜひ懐深くにおおさめいただきたいと思います。ありがとうございます。

○委員長（北川勝義君） ちょっと待った。僕言うわ、僕ちょっと言いにくい。

今僕は反対しようるわけ、佐々木さんの味方しようるわけじゃのうて、今皆さんでやっぱり、僕が言いたかったのは本当の民意というのは、下山さんも言ようるけど、下山さんの流儀も合うとるかもしれん、光成さん、澤さん、議長にも意見聞いてねえ、言われてねえけど、民意というのは何ならというの、党派が変わって、政権がかわったら変わってくるんです、予算も。当然のこれが民意で、今言ようるから。変わらんのか、前からいくんじや、そんなナンセンスな話じゃねえんです。

だから、これが変わっていてもえんじやけど、ただ変わらんでもええ、大体これでいかにやあ、もうこれからは赤磐市も指定管理とかいろいろやっていかなんだら、身を切るようなことをしていかなんだら難しいんじやねえかと。ただ、今やっていきよんの、今の事業を全部やっていって、指定管理せえというたら、赤磐市が金出すだけで結果的にや何ら変わらんとするんす。じゃけ、どっかの部分を切らにやおえんとか、何かがなかったらおえんと思うんす。そこらがまだわからんのもあるんで、ええ場合もある。そういうひな形で皆さんに、じゃけ僕委員会をつくれ言うたんじやねえけど、こういうのもありますよというの示してほしいと言ようるわけ。はやりじゃけんしようるというんじやのうて、はやりじゃと、失礼な話ししよんじやねえけど。そうしたら、今下山さん言ようったような、大体決まっとることじゃけえ指定管理の僕らも反対じゃあねんです。じゃから、やり方があるからちょっとどんなかな。

特に山陽ふれあい公園だけやるというんで、山陽ができたら、もし貸したら、山陽できたんじゃけん吉井もするんじやと、B&Gもするんじやと、ぱっとういかれる場合もあるし、そこらちょっと考えなんたら。ええ例が、オートキャンプやこうは特別会計です。オートキャンプは特別会計でやっとするでしょ。特別会計でやりゃあええんです。やり方によったら。じゃけ、いろいろあるんです。じゃから、それ特別会計でやれ言よんじやねえですよ、僕は。これ指定管理でもええと思うて、賛成してきとんじやけど、そこらもう一遍丁寧に説明してもらいてえとお願いしてんです。副市長、言ようることもわかるでしょ、今言よんの。

副市長。

○副市長（安井栄一君） 皆さんの御意見踏まえて、十分納得いただけるような資料も提出して、御理解の上で指定管理をやっていかにゃいけんと思っておりますんで、また十分相談させていただきたいと思います。

○委員長（北川勝義君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは、これ以上入りようったら、もう審議入ってしまうけん、僕まで入るようなことになるから。

それで、執行部のほうはその他もうありませんか。よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それじゃ、委員の皆さん、その他何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） たら、私のほうから1個だけお願いしときます。

実は、私も漁協の組合員で、5月16日に吉井川でこりゃ、仁美、佐伯北、黒本、周匝、吉井町幼・保一元化ということで、保育所になつとります。それがアユの放流祭を11時に吉井川でやります。議員さんにも通知は出とると思います。もちろん、市長さん、議長さんにはものを言うて挨拶してもらってなると思います。たまにはというこっちゃねえですけど、ぜひ時間が許せばです、もう無理があったらですけど、きょう委員会があるんで言うときます言うとりますんで、漁協のうちの支部長に言うとりますんで、ぜひ時間があれば出てきていただきたいと思います。

私のほうは以上です。

それでは、その他にはもうないと思います。

以上をもちまして第4回の総務文教常任委員会を閉会いたしたいと思います。

閉会に先立ち、土井原教育長の方から御挨拶をいただきたいと思います。

○教育長（土井原敏郎君） きょうは午前中、また途中まで勝手にいたしました。

市外の関係の方が集まれた会を主催しとりましたので、申しわけありませんでした。慎重に御審議をいただきまして教育関係施設もたくさん視察をいただきまして本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

皆様方には早朝より視察、大変またここで会議ありがとうございました。御苦労さまでした。これで終わりたいと思います。

以上です。

午後3時20分 閉会